



地域日本語支援ニュース こだま 第 247 号

2014.1.9



新年あけましておめでとうございます。

今年もよろしくお願いいたします。

★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

=====

■ともに生きる■

「大好きな青森で、大切な家族や仲間と」

太田・アポスト・ミハイ・フロリン

青森市から、国際文化交流クラブの副代表として活躍中のミハイさんのお話が届きました。インタビューとそのまとめをしてくださったのは、青森市の日本語学習支援「青い森」代表新山和子さんです。「青い森」は、日本語教室のほか、日本語を教えるための講座、国際交流イベントの開催などを活動の中心としています。

-----☆☆☆☆☆☆☆☆

◆自己紹介◆

皆さん、こんにちは。

太田・アポスト・ミハイ・フロリンです。私の名前を見て「何人？」と思われるかもしれませんが、「太田」は妻の名字で、私は生粋のルーマニア人です。来日は 2003 年 2 月 8 日です。来日年月日は聞かれる度に即答するので皆さんに不思議がられます。種明かしをすると、私は来日してまもなく「運命の人」に出会って結婚し、偶然にも来日 2 年後の 2 月 8 日に息子が誕生しました。2 月 8 日は私にとって二重の記念日なのです。

◆来日前の日本語の勉強◆

友人に誘われて冬休み中のアルバイトをしに日本へ来たときは、ブカレストの建築大学の3年生でした。来日前は、日本語はおろか、日本のことに全然関心がありませんでしたが、必要に迫られて大学で日本語を勉強しました。学習時間が短かったので簡単な会話と挨拶、そして生きるために必要不可欠な表現と考えた「水をください」を必死に覚えました。

◆来日後の日本語の勉強◆

青森市に来てからは、ボランティア団体主催の日本語教室で学ぶ一方、青森公立大学で「対人コミュニケーション」と「IT技術」の授業を受けました。実は、私は高校修了時に、「IT技術」に関する資格を取得していました。自分が既に覚えていることを自分が学びたい言語で学ぶという実践的な勉強法を選んだという訳です。これは「スマイル英会話」のオーナーとしての仕事にも生かされています。英語を教えることは日本語の勉強にもなります。

◆今、ハマっていること◆

妻が経営しているラーメン店の麺製造に携わっています。麺作りは、季節や気温による水加減などの調整が必要で、思っていた以上に創造的な仕事で気に入っています。麺生地を使って麺以外の「ミハイ・オリジナル」を作ることにも挑戦しています。趣味の合気道も続けたいですし、これからはスノーボードも大いに楽しみたいです。

◆これからやりたいこと◆

青森は海と山に囲まれた自然豊かなところで、アウトドア派の私には最高環境です。この青森の良さを生かしたイベントをたくさん開催したいです。人と人との出会いは人と人との繋がること→繋がることで笑顔が生まれる→笑顔は人を幸せにし、物事を丸く収める。「丸く収める」は私が好きな合気道の精神に基づく考え方です。これからも大好きな青森で大切な家族や仲間と一緒に暮らしていきたいと思っています。

最後まで読んでくださって有り難うございました。
